

さくらの里



令和5年12月1日発行 第184号



12月になりようやく寒くなってきましたが、撮影した11月は暑さも感じる様な季節外れの日ばかりでした。そんな中で「秋にちなんだ行事」を行いました。

2階は秋の味覚収穫祭と題して、畑に見立てた大きなプールに新聞紙の塊をいっぱい敷き詰め、中から色々なモノを掘り出しました。サツマイモやジャガイモ、たまにキノコやサンマや柿が出てくることも。イモは本物を用意したので、皆さんびっくりされていました。

3階では秋にちなんだクイズやお話をしました。秋の七草を写真や文字を見ながら当てたり、紅葉のきれいな観光名所の写真を見て思い出話を語ったりしました。最後は目の前に散らばった紅葉を拾ったり記念写真を撮りました。

通所リハビリでは、じゃんけん大会を行いました。1位から9位まで景品もあり、皆さん真剣な表情で参加していました。勝って嬉しかった方、負けて悔しかった方もいましたが、とても盛り上がりました！！

行事食

秋のおやつ



11月18日（土）に
秋らしいおやつを提供しました

- ・季節のねりきり(りんご)
- ・ロールケーキ安納芋

居宅介護支援事業所だより

「業務継続計画（BCP）」について

平成12年に介護保険制度がスタートし、22年が経過しました。人口構造の変化や、経済状況の変化などから制度は大きな転換期を迎えています。いかに持続可能な制度としていくかが、現在、大きな課題となっています。その中で、「業務継続計画（BCP）」は、令和3年度の制度改正で介護保険サービス事業者に義務付けられ、令和6年3月末までに策定し実施することが法律で位置付けられました。内容について、簡単にご紹介します。

業務継続計画は、災害に対する計画と感染症に対する計画があります。いずれも利用者さんの生活に支障がでないように、“介護サービス（業務）を中断させない”、または“中断しても可能な限り短い期間で復旧させる”ことを目的としており、日頃から方針、体制、手順等を計画として明確にする事で、有事に備えておくものとなります。災害や感染症発生時に必要な物品の備蓄や使用方法、災害等が発生した際の初動対応や復旧、復興までの手順など、内容は多岐に及びます。また、計画立案後は定期的な訓練や手順の見直し、職員に対する教育が求められます。

当事業所でも「業務継続計画（BCP）」を策定し、皆様が安心・安全に生活できるよう、支援体制を整えておりますので、お気軽にご相談ください。



介護のことなら何でもご相談ください（相談無料・秘密厳守）

南東北三春居宅介護支援事業所（三春南東北リハビリテーション・ケアセンター内）

相談窓口：TEL0247-61-2512（直通） 営業日：月曜日～土曜日、8時30分～17時

今月の出来事

【お知らせ】
当施設のホームページをリニューアルしました
フォトギャラリーや広報誌、行事食は
「日々の生活」からご覧いただけます
ぜひご覧ください

三春南東北 ホームページ



2階フロア



先月号でお伝えしたハロウィンと並行して、10月から少しずつ作り続けて完成したのが、写真のぶどう飾りです。「ひと房に何粒作ればいいのか」と聞かれながら頑張って完成させました。しかも出荷前の保護袋まで再現した逸品となっております。園芸ネットに吊るせば、まさにぶどう棚！今、2階フロアには至る所に食欲の秋が飾ってあります。飾った姿はリニューアルした当施設ホームページに後日掲載予定です。

3階フロア



11月の飾りにみんなで「ミノムシ」を作りました。紙コップに細長く割いた茶色系の折り紙を張り、目を付け、紐を通せば完成です。作成中は、「ミノムシ最近は見ないね」「ミノの中のは何の虫が入っているのか」等話になりました。完成したミノムシは天井から吊るして飾りました。背景に落ち葉をあしらってかわいらしい秋の風景ができました。

通所 リハビリ



今月のレクリエーションは、叩いてじゃんけんポンと物送りゲームを行いました。叩いてじゃんけんポンゲームは、ピコピコハンマーと紙風船と箱をテーブルに置きじゃんけんをします。勝った方はハンマーで紙風船を叩き、負けた方は紙風船を叩かれないように箱で阻止するゲームです。箱を持つのが大変な方もいろいろしゃいしましたが、とても盛り上がりました。物送りゲームでは、ボール・本などを順番に隣へ送るゲームで、声を掛けながら白熱の物送りゲームとなりました。



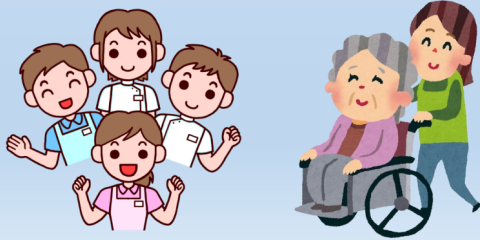
作品展で賞を頂きました！

老人クラブ連合会の作品展で賞を頂きました。ぬり絵や工作、俳句や詩等を出品しました。皆さん一生懸命に取り組み、どの作品も素敵な仕上がりとりました。連合会から賞状や副賞を頂きました。



当施設職員が表彰されました！

福島県の「キラリふくしま介護賞」を当施設職員の松本智子さんが受賞しました。令和2年から始まった賞ですが、当施設では初となります。授賞式は11月11日に行われ、福島県のホームページにて紹介もされています。是非そちらもご覧ください。



交通アクセス

●郡山東ICから約2km(約3分) ●総合南東北病院から約8km(約10分)
●舞木駅から約2km(5分) ●郡山駅から約8km(約15分)

一般財団法人脳神経疾患研究所 介護老人保健施設 三春南東北リハビリテーション・ケアセンター

〒963-7733 田村郡三春町大字山田字クルミヤツ3-3
代表Tel.0247-61-2511 Fax0247-61-2522

<http://www.kaigo-miharu.com/>

【ダイヤルイン番号】(通所リハビリと相談室は8:30~17:00)
通所リハビリ:0247-61-5200 相談室:0247-61-5201
2階ステーション:0247-61-5203 3階ステーション:0247-61-5204
南東北三春居宅介護支援事業所:0247-61-2512